

平成 24 年度 シラバス	学年・期間・区分	3 年次 ・ 通年 ・ A 群	
	対象学科・専攻	情報工学科	
言語処理系 (Language Processors)	担当教員	堂込 一秀 (Dougome, Kazuhide)	
	教員室	情報工学科棟 4 階 (TEL : 42-9096)	
	E-Mail	dougome@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 履修単位 / 2 単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業 (100 分)] × 30 回		
[本科目の目標] 言語処理系の機能と構造を知り, テキストファイルの解析技術を修得することを目標とする。			
[本科目の位置付け] C 言語など的高级言語によるプログラミング経験が必要である。第 4 学年では, 本科目の学習内容に基づいてクロスコンパイラを開発する実験が予定されている。			
[学習上の留意点] コンパイラの理論は集合の記法を用いて記述されることが多いので, 読解できるようになっておくこと。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 概論	4	<input type="checkbox"/> プログラミング開発環境の構成要素とその役割を示せる	配布プリントを読むこと
2. 文法の記述法 —中間試験—	10	<input type="checkbox"/> 文法を定める記述法と意味を示せる 授業項目 1 から 2 について達成度を確認する	
3. 字句解析 —期末試験— 試験答案の返却・解説	14 2	<input type="checkbox"/> 正規表現から最簡形決定性有限オートマトンへ変換できる 授業項目 3 について達成度を確認する 試験において間違った部分を理解できる	
4. 構文解析 —中間試験—	14	<input type="checkbox"/> 上向き構文解析法と下向き構文解析法の動作を示せる <input type="checkbox"/> 授業項目 4 について達成度を確認する	
5. コード生成	10	<input type="checkbox"/> 式, 制御文, 関数に対するコード生成手法を示せる	
6. 最適化	2	<input type="checkbox"/> 最適化の手法を示せる	
7. アセンブリ言語と機械命令 —期末試験— 試験答案の返却・解説	2 2	<input type="checkbox"/> アセンブラの機能と動作を示せる 授業項目 5 から 7 について達成度を確認する 試験において間違った部分を理解できる	
[教科書] なし [参考書・補助教材] なし			
[成績評価の基準] 試験の加重平均 (80%) + 宿題 (20%) - 授業態度 (最大 40%)。 中間試験および期末試験以外に試験を実施する場合がある。 各試験の重みは原則として均等であるが, 分布に著しい偏りを認めた場合には補正することがある。 授業妨害行為および正当な理由のない欠席は, その程度に応じて授業態度分を減点する。			
[本科 (準学士課程) の学習・教育目標との関連] 3-c [教育プログラムの学習・教育目標との関連] [JABEE との関連]			

Memo

---



---



---



---



---